

山 広報 平成30年(2018)

4 月号 No.730

きなりの郷とは… 純粋、素朴、まざりけのないと言った意味で、「本物の暮らしのある村」という願いを込めた言葉です。

きなりの郷

下北山



中学校 卒業式

平成30年度 施政方針

3月8日に開催された、平成30年第1回村議会定例会において、南村長は平成30年度における施政方針について、次のとおり説明しました。

平成30年下北山村議会第1回定例会において、本議会に提案しております平成30年度一般会計及び特別会計の各予算案をはじめ、関係諸議案の審議をお願いするに当たり、私の所信の一端と重点施策について申し述べ、議員の皆さま、村民の皆さまに広くご理解とご協力を賜りたく存じます。

我が国の経済状況について、平成30年2月に発表された内閣府の月例経済報告では、「景気は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種施策の効果もあって、穏やかに回復している。」との見方が示され、また日銀発表の地域経済報告においても、景気情勢において6地域（北陸、関東甲信越、東海、近畿、中国、九州・沖縄）で「拡大している」、「穏やかに拡大している」としているほか、3地域（北海道、東北、四国）では「穏やか

な回復が続けている。」という表現が盛り込まれています。このようなか、2月28日に国の平成30年度予算案が衆議院本会議を通過し、年度内に成立する見込みとなりました。

一般会計予算案の総額は、97兆7,128億円で、昨年に続き過去最大の増額予算となっております。

しかしながら、地域経済への影響までは未だ実感できるものではありませんし、本村の主要財源である村税や地方交付税の動向、国と地方自治体との関係性など村行政を取り巻く情勢は決して樂觀できるものではありません。今後とも、村民生活に最も身近な基礎自治体として、国や県の動向を注視しながら常に村民の暮らしに寄り添い、今何をすべきかを考え、村政運営を進めてまいりたいと考えております。

村では過疎化・高齢化が進み、様々な課題が発生してきておりますが、その課題に立ち向かうべく、平成27年10月に策定した「下北山村地方創生総合戦略」に掲げられている施策について、平成30年度も引き続き重点施策として推進するとともに、若い人たちが夢と希望の持てる活力ある村づくり、そして高齢者の皆様には安心して暮らせ

る村づくりを目指し、村民の皆様と行政が手を携えて、「住みたい、住んで良かった」、「行きたい、行って良かった」と思っていただける村づくりに取り組んでまいりる所存であります。

それでは、平成30年度予算案とその主な取り組みについてご説明いたします。平成30年度当初予算案は、一般会計で17億9,400万円、前年度比1億4,400万円、8.7%の増となっております。特別会計7会計の合計は、5億9,319万7千円、前年度比9,947万4千円、14.4%の減となっております。一般会計と7特別会計の合計では、23億8,719万7千円で、前年度比4,452万6千円、1.9%の増となっております。

先ず歳入においては、村税は昨年と同程度を見込んでおり、国県支出金では昨年に引き続き地方創生関連交付金を見込んでいます。また、歳入比率の一番大きな地方交付税は、国の交付税算定式の変更に伴い、4,000万円の減額となる見込みで、大変厳しい状況となります。一方、建設事業やインフラ投資の増加のため、基金からの繰り入れと村債の発行額が増額となっています。なお、村債については、後年度に財政措置のあ

る過疎債や辺地債等、有利な村債の発行を見込んでいます。

平成30年度の主な事業としては、1 森と生きる「仕事づくり」、ものづくり、ひとづくり」関連では

◆**地域資源を生かした林業の推進**として、地方創生関連交付金と地域おこし協力隊制度を活用した自伐型林業を継続して展開し、持続可能な林業を目指します。また、同交付金を活用して平成29年度に整備し平成30年度から再稼働を予定している林産加工施設については、指定管理制度の下、本村の林業振興の拠点施設として、林産物の利用促進と雇用の場の確保を図り、村の中で素材から加工までの一連の流れをすべて完結する6次産業化を目指します。

また、「美しい森林づくり基盤整備交付金事業」や「県産材生産促進事業」等の補助金を活用した間伐施業を行うなど、従来からの森林整備も継続して行います。

◆**起業支援・就業支援**として、平成29年度に整備した「コワーキングスペースBIYORI」において、昨年、地域振興等に関する協定を締結した月刊タウン情報誌「パル」等を出版するNIPランニング様や奈良県の支援もいただきながら、サテライトオフィスとしての企業及び個人事業者の誘致を



積極的に図っていきます。

◆**特産品関係**では、春まなの生産助成補助を継続して安定供給を図るとともに、ジビエの普及啓発を促進するため、スポーツ公園と連携したジビエ料理のイベントを実施します。また、新規特産品の開発のため、地域に眠る資源の特産品化の可能性を調査・検証する事業を、推進交付金を活用して村内の人と協働して実施します。

◆**地域内消費の喚起策**として、昨年に引き続きプレミアム商品券事業を実施し、地元経済の活性化を図ります。

◆**獣害対策**では、「有害獣防除柵設置補助金」「獣害対策奨励補助金」を増額するとともに、新たな対策の研究を行っていきます。

◆**その他**に、本村の情報通信インフラの基盤整備として、ケーブルテレビネットワーク光化促進事業を、国の補助金を活用したうえでこまどりケーブル株との共同事業として実施する予定です。これにより、一般家庭においては動画の視聴やオンライン通信がスムーズに行えるようになるほか、特に重要なのは、ネットを使って仕事を行う事業者の事業環境が大幅に改善されることです。企業誘致や新たな産業の創出にも可能性を広げるものと期待しています。

2 森に遊ぶ「もてなし、ふれあい、感動づくり」関連では、

◆**交流人口の拡大を目指す取組**として、奈良県との共同事業「奈良・下北山むらコトアカデミー」を昨年に引き続き実施し、下北山村の関係人口を増やしていきます。

◆**観光の拠点であるスポーツ公園**においては、老朽化した施設の改修整備を順次進めており、平成29年度補正予算で計上したバーベキューハウスの改築工事を繰越事業で実施しています。また、名誉村民である故杉岡華邨先生の書斎を模してスポーツ公園内に記念館として建築し、新たな文化観光施設として整備します。池の平公園では、水力発電交付金事業を活用して、池の平ハウスの屋根ふき替え及び外壁塗装を実施します。

◆**下北山村の観光資源を活用したイベントの実施支援**として、これまで同様「さくら祭り」「夏祭り」「イルミネーション」、昨年から実施している「キッズバスフイッシングスクール」、その他各種イベントへも積極的な支援を行います。また、温泉優待券の発行を行い、きんりの湯の入湯者の拡大を図ります。また、地方創生推進交付金を活用して、新規観光ルートの開拓やモニター体験等を企画し、新たな観光資源の創出を模

索します。

◆**下北山ファン倶楽部事業**として、本村を応援してくれる方々を組織化するために下北山ファン倶楽部会員制度を設け、様々な特典を設けることで定期的な来村を促し、本村との関係をより強固にしていきます。また、平成31年に村政130周年を迎えることから、記念事業として村らしさを伝えられるような記念カレンダーを作成します。

3 森で育む「子どもの笑顔ときなりライフ」関連では、

◆**定住・転入の促進**では、昨年度に引き続き若者定住のための住宅家賃補助、住宅新築及び空き家購入・改築への補助を実施します。また、移住促進を図るために引き続き移住体験ツアーを実施します。

◆**婚活イベント**は昨年に引き続き実施しますが、より効果を期するために地域創生推進室と保健福祉課のコラボ事業として更なる出会いの場づくりを図ります。

◆**結婚・出産・子育てへの切れ目ない支援**では、赤ちゃん誕生祝い金及び乳幼児紙おむつ購入助成、チャイルドシート購入助成を継続実施します。母子衛生事業についても、乳幼児健診や妊産婦健診、不妊治療や新生児聴覚検査費用の助成を引き続き実施します。保育

所の運営については、早朝保育・延長保育の実施や1歳児保育の受け入れ等、保育事業の充実に努めているところですが、引き続き保育体制の一層の充実・強化を図っていきます。

◆**下北山村ならではの密度の高い教育の実施**として、小学校においては引き続き、複式学級解消と特別支援学級補助のための村費教員を配置します。また、昨年から実施しております放課後児童クラブ（学童保育）の対象を6年生までに拡大して継続実施します。夏休みの恒例行事となっている寺子屋教室も引き続き実施し、その他に放課後子ども教室として書道教室と英会話教室を開設します。

中学校においては、2・3年生を対象に今年も夏休み期間中、オーストラリアのケアンズに1週間ほどのホームステイをしながら海外短期語学留学を予定しております。また、免許外教科解消のため村費教員を配置するとともに、夏休み・冬休み期間中に復習と受験勉強を目指した公設塾を開設します。

新規の施策として、平成30年度より奈良県立高等学校総合寄宿舎等に入寮している生徒に対し、寮費の一部を補助する制度を開始します。

また、平成29年度に検討を重ね

てきました保小中合同校舎の建設に向け、平成30年度において実施設計を行い、平成31年度の建設を目指します。

◆暮らしやすい安心できる村づくりとして、2町3村で運行中の「ルート169ゆうゆうバス」の運賃補助を継続実施するとともに、サポートきなりが行う「公共交通空白地有償運送」の運行を支援します。

◆健康管理事業として、女性が奈良県第1位となった健康寿命（日常的に介護を必要とせず、健康で自立した生活ができる期間）については、男女ともに健康寿命が延ばされるよう一層の保健事業の充実に努めるとともに、国民健康保険被保険者等を対象とした総合健診やがん検診、各種予防教室や相談会、各種予防接種等を引き続き実施します。また、今年度の新規事業として、禁煙外来の補助を希望者に対し実施します。

◆福祉施設整備事業として、この郷の各居室のエアコン取替えやナースコールの改修など、入居者・利用者の安全安心の確保に努めます。

◆安全な道づくりでは、池郷線、大小井ウノス線の災害防除工事を継続実施するほか、寺垣内浦向線の改良工事の継続実施、前鬼釈迦

線の改良工事と橋梁補修工事、上桑原1号線の舗装補修工事を実施します。また、村道橋梁の点検業務を継続実施するほか、上桑原地区の村道延長に係る測量設計業務を実施します。

コモ谷土砂処分場については、平成27年度から実施してきた擁壁工事が平成30年度で完了する予定で、今後約20万㎡の土砂の受け入れが可能となります。

4 特別会計関連では、◆国民健康保険特別会計では、国民健康保険制度の県単位化に対応した予算に変更しています。

◆国民健康保険診療所特別会計では、電子内視鏡（胃カメラ）、電子カルテ、レントゲンCR装置を更新し、医療機器の充実を図ります。◆スポーツ公園管理運営特別会計では、キャンプ場予約件数西日本1位に輝いたスポーツ公園キャンプ場の環境を更に充実させるため、コテージ等の修繕、施設の安全設備の充実に努めます。

以上、平成30年度の施政方針と当初予算案に計上しました重点事項について申し上げます。なお、予算案の詳細については別途予算関係資料を提出しておりますので、予算審議の過程でご審議頂きますようよろしくお願いいたします。

第13回市町村対抗子ども駅伝大会開催

チーム全員で想いをつなぐ

3月3日（土）、檀原運動公園（檀原市）において、「第13回市町村対抗子ども駅伝大会」が開催されました。

県内39市町村の小学5、6年の児童420人が参加し、男女4区間ずつの計8区間（約13キロ）を走る駅伝の部と、約1,500メートルを走り、その時間を競うタイムトライアルレースの部が行われました。

下北山村は、昨年に引き続き上北山村との合同チームを結成し、本村の5・6年生9名と、上北山村の6年生1名が、駅伝とタイムトライアルレースに参加しました。保護者の方や沿道で見守る人たちの大きな声援を受けながら、最後まであきらめずに一生懸命に走る姿は、私たちに感動を与えてくれました。

駅伝の結果は、35チーム中32位（記録は55分17秒）で、村の部では9チーム中5位でした。練習時のタイムを大きく上回る児童も多く、チーム全員が最後まであきらめることなく、たすきをつなぎ合いました。

このような大きな大会の中で走れたことが、良い経験、そして良い思い出になったことと思います。

放課後、駅伝大会に向けての練習をご指導下さいました小学校の先生方、また、当日ボランティアで手伝いに来て下さいました中学生、応援に来て下さいました保護者の皆様、本当にありがとうございました。





きなりの郷 下北山物産展開催！

3月4日（日）に下北山温泉きなりの湯にて下北山物産展が行われました。

下北山村の地の物をふんだんに使ったジビエ料理、春まなや南朝味噌を使ったきなり鍋やきなりピザ、新鮮野菜を販売する朝市など館内外は大盛況でした。また、餅つき体験も行われ子ども達はつきたてのお餅を美味しそうに食べていました。



桜エビパスタ



鹿肉カツカレー



和紙づくり体験教室開催

「世界でたった1枚のオリジナル和紙を作ろう」

3月11日（日）、保健センターにおきまして、教育委員会主催の和紙づくり体験教室が開催されました。

講師に吉野町の手すき和紙工房（植和紙工房）の「伝統工芸士」植貞男先生をお招きし、小学生と書道教室（公民館教室）の受講生、計14名の方が参加されました。

和紙づくりはまず、水槽の水に溶かした和紙の材料を、四角い木枠の中に網が張られた「すきげた」と呼ばれる道具ですくい取り、四方にゆすりながらすきま



す。その後、紙面に好きな押し花や折り紙等をのせて自分流の和紙に仕上げ、最後に乾燥させて出来上がりです。

うまく紙の材料をすくことが出来ず、悪戦苦闘している方もおられました。日本の伝統文化を体験し、貴重で楽しい時間を過ごすことができました。

防犯教室を開催

3月2日（金）、下北山中学校において、下北山村安全で住みよい村づくり推進協議会と吉野警察署との合同で、全校生徒及び教職員に対して防犯教室を実施しました。

最初に、下北山村安全で住みよい村づくり推進協議会の木谷会長より挨拶並びに防犯指導があり、

続いてスクールサポーターの仲山氏より、小学生でも使っているスマートフォンに絡むトラブルに関する動画を見て、指導を行いました。





年
間
発
酵
さ
せ
完
成
で
す。
味
噌
作
り
の
後
は、
め
は
り
寿
司
な
ど
も
作
り、
講
師
を
囲
ん
で
ス
タ
フ
や
参
加
者
の
皆
さ
ん
は
交
流
を
深
め
て
い
ま
し
た。



お味噌作りを
行いました！

3月18日(日)、コワーキングスペースBIYORIにて味噌仕込み交流ワークショップが開催され、現在サポートきなりで集落支援員として活動中の渡部みなみさんを講師とし、地域おこし協力隊を中心とした18人が参加され、実際に味噌作りを行い、味噌について学びました。

米麴と塩、大豆を手でよく混ぜて容器に入れ、約1

奈良市のカフェ「ことのまあかり」にて 下北山村フェア開催される

3月7日(水)から3月12日(月)の6日間、カフェ「ことのまあかり」(奈良市)にて下北山村の郷土料理を味わえる限定メニューが登場する下北山村フェアが開催されました。

奈良市小西町に店舗を置くカフェ「ことのまあかり」は、村に在住の上村恭子さん(河村恭子さん)が代表社員を務める「合同会社コトソコノ制作室」(印刷物の企画制作発行、イベント企画実施、商品の企画、開発)が運営しており、今回のフェアは、その御縁から下北山村を広くPRする目的で開催されました。

フェアに併せてサポートきなりの新製品「下北山村産たかきび」や南朝味噌、村内の木工製品や上村さんの発案した「前鬼川」をモチーフとしたマニキュア「前鬼ブルーネイル」などが販売され、期間中はネットや口コミで話を聞きつけたお客さんで大変盛況な様子でした。

また、10日(土)には、村民の「お母さん方」が講師となって、郷土料理ワークショップとして「めはり寿司」や、最近では作る家庭も減ってきた「タカキビ団子」作りを通して下北山村を身近に感じる事ができたワークショップとなりました。





休診日について

4月1日より診療所医師が交替しております。これに伴い、休診日につきましても「毎週水曜日」へ変更となりますので、お知らせ致します。

【診療時間】

午前8時30分～正午

(受付時間午前8時～午前11時30分)

【休 診 日】

毎週水曜日 (医師研修日のため)

ご不明な点等ございましたら、診療所までお問い合わせ下さい。

診療所からのお知らせ

退任のご挨拶

皆様こんにちは、前年度3月まで診療所で医師として務めさせていただきました金谷です。2年間、診療所スタッフ、保健福祉課をはじめとした役場の方々、各種関係施設のスタッフの方々、そして村民の皆さまからは非常に暖かく接していただき、大変嬉しく思い、有意義な時間を過ごさせていただきました。思えば下北山村の存在を初めて知ったのは、小学3年の社会科の授業の時でした。その頃は物理的にも精神的にも物凄く遠いところでしたが、ご縁があり村の医療に携わらせていただき、精神的にはもうご近所感覚になりました(物理的な距離は変わらず噛みしめたいと思います)。

最初のうちは白衣姿でなければどこの誰かわからなかったと存じますが、2年目になるとかなりの湯の浴場ででも声をかけていただき、ありがたく思いました。多くの下北山村の村民の方々と接して感じたことは、遠くに住むご家族に心配や迷惑をかけたくない、という思いが強いということでした。だからこそご自身のお体のことも真剣に考えておられ、自分のような若輩者が生意気に指摘することも快く受け入れていただいたなと実感いたしました。

歴代の先輩方が第2の故郷になる、と話されていた理由もよくわかりました。また、どこかでお会いしたときは、お声をかけてくだされば嬉しく思います。2年間、誠にありがとうございました。

下北山村診療所 金 谷 悠 司

おもてなしスタッフ
養成講座を開講しました!

3月13日(火)、村内の観光施設職員や役場職員が集まり、下北山村にお越しくださった皆様に素敵な時間を過ごしていただけるよう「おもてなし力の向上」を目指す講座を開講しました。

南都経済研究所で接遇研修等を担当されている奥主任研究員を講師に迎え、好感をもたれる電話対応や窓口対応について学びました。

27名の参加者が、様々なケースを想定して職員役と来客役を担当し、それぞれの立場での振舞いを学ぶ非常な実践的な研修となりました。

今後の業務に今回の学びを反映させ、お会いする皆様に喜んでいただけるよう努めてまいります。



血管年齢測定を行いました！



2月27日(火)、血管年齢測定を行いその後、血管が若返る工夫や運動などを行いました。参加した村民さん全員が実年齢より血管年齢は若く、とても健康な生活を送っていることがわかりました。

保健センターの教室紹介

お弁当づくり体験！

2月20日(火)、管理栄養士の方をお招きし、高齢者でも食べやすく栄養満点なお弁当作りを行いました！



フォトジェニック弁当作り！

2月21日(水)、育児サークルの一環で、フォトジェニックなお弁当作りが行われました！フォトジェニックとは写真写りが良いということで、ママさんの個性のあるとっても美味しそうなお弁当が出来上がりました！

観光PR事業「ふりむかないで 下北山村」

奈良県は、1970年代のヒット曲『ふりむかないで』の替え歌を活用した市町村の観光PR事業をJOY SOUNDの協力のもと展開しています。

この度、下北山村も奈良県と協力し、村内の観光資源を広く発信するため替え歌とPR映像を作成しました。この動画はインターネット上でも公開されており、いつでも視聴頂けます。

また、この替え歌は全国のJOY SOUND導入店舗にてカラオケ配信されますので、皆さまも下北山村への誘客を促進するため、



是非、熱唱してみてくださいいかがでしょうか。
ご視聴の場合は、パソコン・スマホで「ふりむかないで 下北山村」と検索してください。

ふりむかないで

ー奈良県・下北山村ー

桜並木が 導く先に

集う人々 笑顔こぼれる

舞い散る花びら 歩道染めて

華や下北 きなりの郷へ

緑輝く 大峰の山

森の恵みよ 七重の滝

清い流れに あまごの姿

きらめく下北 きなりの郷へ

木々の彩り 水面に映える

祭りのにぎわい 実りの秋

澄みわたる星空 冬の足音

寄り添う下北 きなりの郷へ

下北山村公式ホームページをリニューアル

この度、下北山村の公式ホームページをリニューアル致しました！村民の方や、観光客の方などにより快適にホームページを使っていたけように、情報を整理し、分かりやすく見やすいレイアウトにしました。今後より一層充実したホームページにしていきますので、引き続きよろしくお願ひ申し上げます！



協力隊のつぶやき

その61

今月号の協力隊のつぶやきは
小野と高原が担当します。

小野：こんにちは、はるみです。年度末、様々なイベントが目白押しの毎日でした。3月4日に行われた下北山村物産展に出店した土曜朝市。冬の間、野菜不足で少し淋しい朝市でしたが、この日は村内の野菜が大集結したかと驚くような出荷量に、手作りの加工品もたくさん並び、村内外のお客さんで大賑わいでした。サポートきなりで栽培していた在来高きびも、商品として初お披露目が叶いました。希少価値が高く、健康食材としても重宝される高きびは、一定層からの需要が多く、また地産作物として村のアピールにも繋がるので、来季はもう少し栽培量を増やしたいと考えています。

3月中旬には「土曜朝市生産者交流会」を開催しました。約30名の生産者の皆様にお集まりいただき、朝市運営について事務局からのご報告と、より良い運営に向けて、生産者さんとの意見・情報交換を行わせていただきました。その後、温かいお鍋料理をみんなで囲み、お楽しみじゃんけん大会も盛り込みながら、賑やかで楽しい時間を過ごすことができました。今後も、生産者さんやお客さんの声を聞きながら、みんなで作り、みんなに愛される土曜朝市を目指していきたいです。



早いもので季節が一巡し、下北山村に来てからあっという間に1年が経ちました。村民さんから様々なことを教わりながら、四季と共にある村の暮らしを満喫しています。桜を愛で、山菜を味わい、お茶を摘んで、梅を漬けて。春の手仕事を楽しみつつ、益々元気に頑張っていきたいと思います。2年目のはるちゃんもどうぞよろしくお願い致します。

高原：皆さんこんにちは！「自転車買った割には全然乗ってないよね」と突っ込まれ、再び自転車通勤を始めた高原です！去年の9月に「自転車通勤すればガソリン代浮くし、運動にもなるし良いな！」と思い、自転車を購入したわけですが、ほとんど乗ることなくインテリアと化していました。春になり暖かくなってきたので3月から月に10回を目安に自転車で通勤していきたいと思います！

では事業報告です。ホタル池の活動では、看板の作成や苔シートの設置、カワニナとホタルの幼虫の放流を行いました。ホタル池に再びホタルを飛ばそうと仲定幸さんと夏から一緒に活動してきましたが、ホタルが6月に飛んでくれるよう今後も環境整備を行っていききたいと思います。また、近鉄ケーブルと協力して行っているさくら祭の告知CMの作成やスポーツ公園主催の物産展イベントの開催準備等を行いました。春になりましたがまだ夜は冷えますね。季節の変わり目、体調に気を付けて良い春を迎えましょう！ではまた！

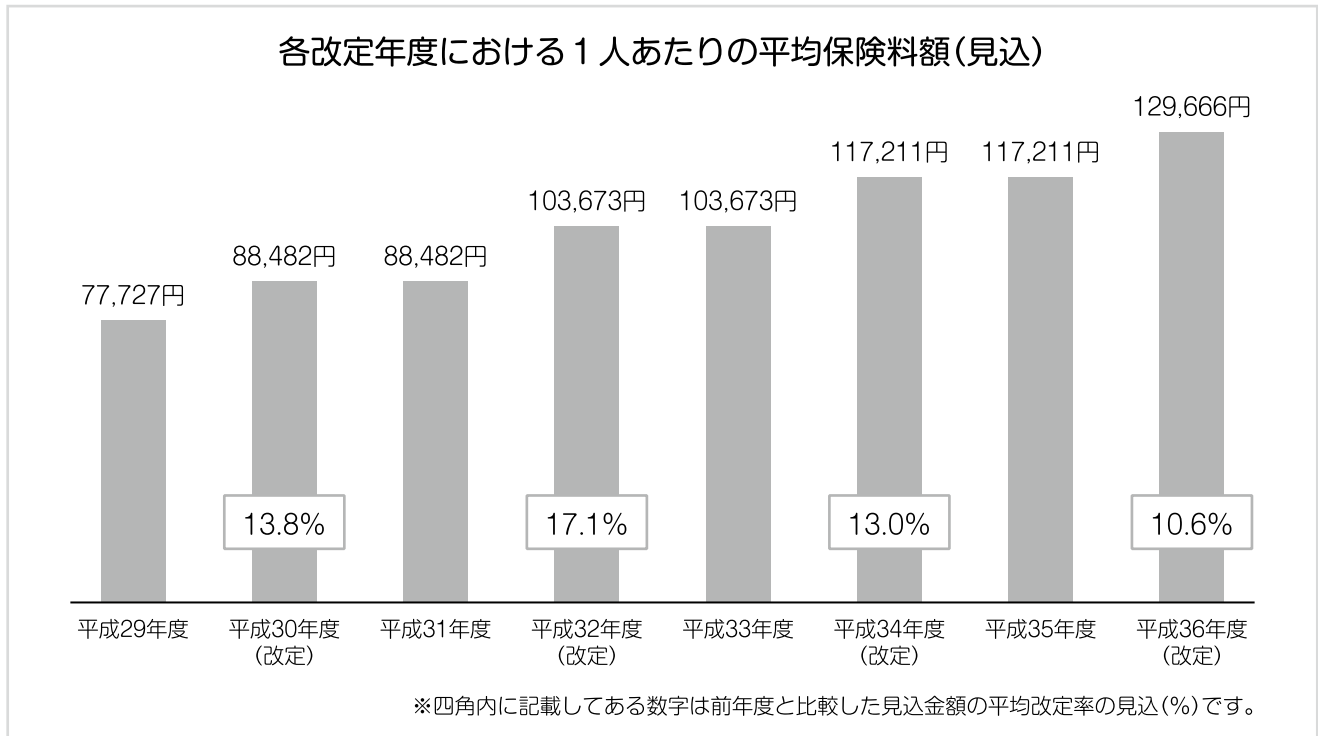


素敵なパッケージを池原の河村恭子さんにデザインして戴きました。



保険制度・税率が変わります

【3. 1人あたりの平均保険料額の推移】



※グラフで表示している金額はあくまで平均です。

被保険者の所得金額や世帯構成などで保険料は増減しますので、ご注意ください。

医療費の適正化にご協力ください

1. 急病などやむを得ない場合以外は、診療時間外の受診は控えましょう
2. 重複受診(はしご受診)はやめましょう
3. かかりつけ医を持ちましょう
4. 薬のもらいすぎには注意しましょう

問い合わせ先：住民課国民健康保険係 (☎6-0001)

平成30年度から国民健康

国民健康保険は、病気やけがをしたときに安心して医療が受けられるように、加入者が国民健康保険税を納め、お互いを助け合う社会保障制度です。我が国の医療保険を支える制度であり、将来にわたり安定的に運営していく必要があります。

しかし、国民健康保険は「被保険者の年齢構成が高く医療費水準が高い」「低所得者の被保険者が多く所得水準が低い」という構造的な課題を抱えています。このような課題に対応するために法律が改正され、平成30年度から都道府県が市町村とともに国保の運営を担い、財政運営の責任主体となって国民健康保険制度の安定化を図ることとされました。

奈良県においては、被保険者の公平化のため平成36年度までに段階的に保険料水準の統一化を目指しています。それに伴い、本村では平成30年度から2年毎に税率の引き上げを行う予定です。

加入者の皆様には、これまで以上の負担をお願いすることとなり、大変申し訳ございませんが、国民健康保険財政を取り巻く厳しい状況をご理解の上、税率の改正にご協力を頂きますよう、よろしくお願いいたします。

【1. 改定前後の税率の比較】

	基礎課税分(医療給付分) (国保に加入するすべての方)			後期高齢者支援金分 (国保に加入するすべての方)			介護納付金分 (国保に加入する40歳～65歳未満の方)		
	改定前 (H29)	改定後 (H30)	上り幅	改定前 (H29)	改定後 (H30)	上り幅	改定前 (H29)	改定後 (H30)	上り幅
所得割(%)	3.5	4.7	1.2	2.0	2.0	0.0	0.8	1.47	0.67
資産割(%)	15.0	0.0	△15.0	10.0	0.0	△10.0	8.0	0.0	△8.0
均等割(円)	10,000	14,200	4,200	8,000	8,000	0.0	6,000	10,600	4,600
平等割(円)	17,000	17,800	800	6,000	6,000	0.0	4,000	0	△4,000
賦課限度額	54万円	※58万円	4万円	19万円	変更なし		16万円	変更なし	

※平成30年4月から地方税法の改正により変更予定

【2. 保険料方針(税率の改定方針)】(予定)

	平成32年度			平成34年度			平成36年度		
	医療	支援金	介護	医療	支援金	介護	医療	支援金	介護
所得割(%)	5.7	2.45	2.13	6.7	2.89	2.79	7.7	3.33	3.45
均等割(円)	18,400	9,100	13,800	22,600	10,200	17,000	26,700	11,300	20,000
平等割(円)	18,600	6,800		19,300	7,600		20,000	8,400	

※32年度の奈良県国民健康保険運営方針の見直し予定。それに伴い本村の保険料方針を見直し、34年度以降に適応。

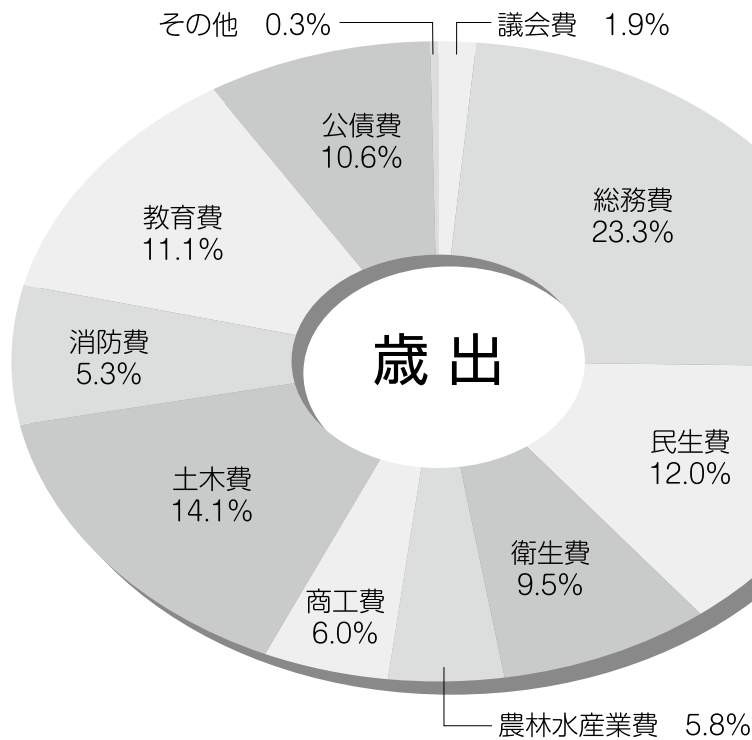


8,719万7千円(対前年度比1.90%増)

30年度当初予算の概要は次のとおりです。

円 (対前年度比8.73%増)

<歳出>



一般会計 (歳出・目的別)

(単位：千円)

議会費	総務費	民生費	衛生費	農林水産業費	商工費	土木費	消防費	教育費	公債費	その他	合 計
33,834	418,017	216,061	170,639	103,745	107,687	252,697	95,518	200,000	190,630	5,172	1,794,000

その他の内訳

労 働 費	予 備 費	計
360	4,812	5,172

一般会計 (歳出・性質別)

(単位：千円)

人件費	物件費	維持補修費	扶助費	補助費等	普通建設事業費	公債費	積立金	投資及び出資金	貸付金	繰出金	予備費	合 計
314,984	358,059	13,956	37,765	241,540	421,267	190,630	8,045	0	4,455	198,487	4,812	1,794,000

基金の状況 (一般会計分)

(単位：千円)

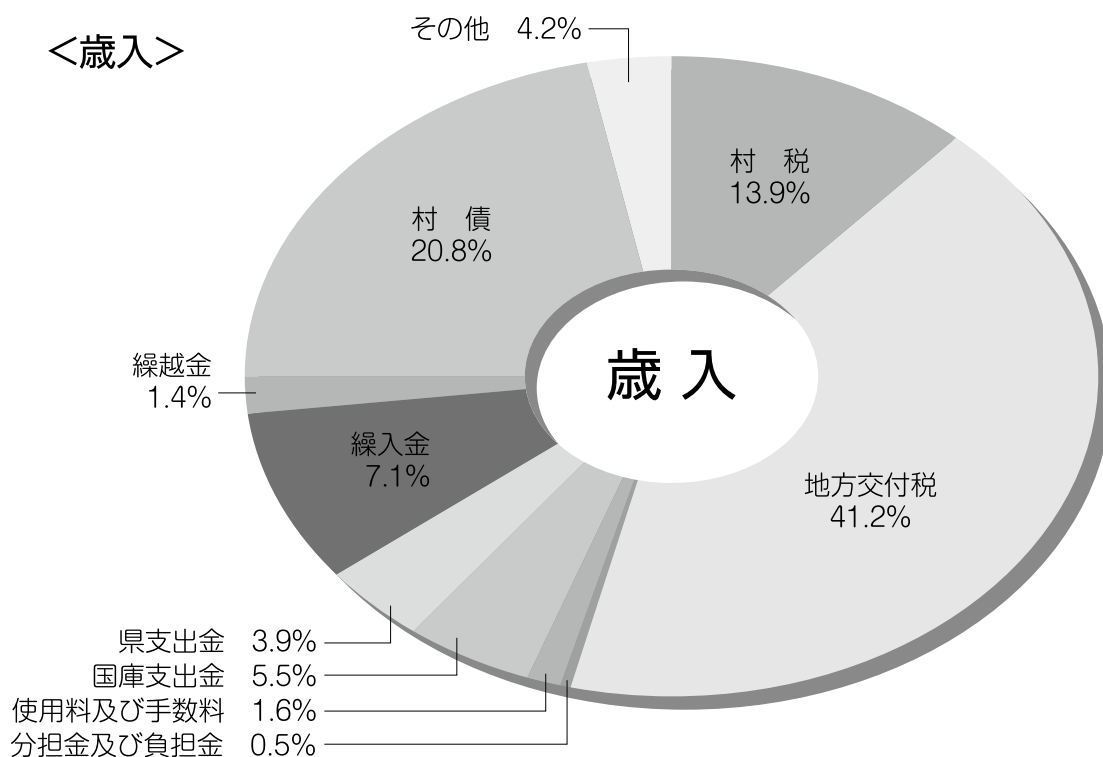
基金の名称	平成29年度末 現在高(見込)	平成30年度末 現在高(見込)	基金の名称	平成29年度末 現在高(見込)	平成30年度末 現在高(見込)
財政調整基金	1,861,689	1,798,831	公共施設基金	62,892	4,572
減債基金	107,887	108,047	消防団員特別出動等基金	59,623	60,038
庁舎建設基金	299,691	299,981	漁業施設基金	14,920	13,148
地域福祉基金(シルバー募金)	254,226	255,416	その他	42,373	43,183
			計	2,703,301	2,583,216

平成30年度 当初予算 総額 23億

3月定例議会において承認された、平成

一般会計 17億94百万

＜歳入＞



一般会計（歳入）

（単位：千円）

村 税	地方交付税	分担金及び負担金	使用料及び手数料	国庫支出金	県支出金	繰入金	繰越金	村 債	その他	合 計
249,732	740,000	5,509	28,313	99,459	69,612	128,130	25,000	373,700	74,545	1,794,000

その他の内訳

地方譲与税	交 付 金	財産収入	寄 付 金	諸 収 入	合 計
13,700	20,790	12,085	1,801	26,169	74,545

※交付金…利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金
地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、自動車所得税交付金、地方特例交付金

特別会計 5億9,319万7千円（対前年度比14.36%減）

（単位：千円）

	国民健康保険	診 療 所	簡 易 水 道	池の平公園	スポーツ公園	介 護 保 険	後期高齢者	合 計
H30年度	148,204	110,716	48,277	15,386	55,961	192,341	22,312	593,197
H29年度	190,376	90,553	158,097	14,233	50,198	169,013	20,201	692,671
差 額(千円)	▲ 42,172	20,163	▲ 109,820	1,153	5,763	23,328	2,111	▲ 99,474
前年度比(%)	▲ 22.15	22.27	▲ 69.46	8.10	11.48	13.80	10.45	▲ 14.36

こんにちは 保健師です



下北山村の美しい桜が今年もきれいに咲いてくれましたね。4月を迎え、新しいスタートをきられた方も多いのでは？この時期は、慣れない環境で体調を崩されやすい方も多いですので、十分に気を付けてくださいね。

◆総合健診のお知らせ

総合健診の申し込みはもうお済みですか？

「健診でがんだとわかった。早期発見できてよかった」

こういったお声を村の中でもよく耳にします。

健診は1年に1回、ご自身の健康について考える良い機会です。で、ぜひ健診を受けてください。ね。まだお申し込みが済んでない方は保健センターまでお申し込みください。

【健診日時】 5月27日(日)
5月28日(月)

※28日月曜日は午前7時より早朝健診を実施。

【場所】下北山村保健センター
※送迎あり

◆こころの健康づくり相談会

相談内容はどんな些細なことでもかまいません。相談員には、心の専門家である臨床心理士が対応いたします。また、お話しただいた内容は秘密厳守されます。

【相談員】 臨床心理士2名

【日時】 4月14日(土)

午前9時～午後3時

【場所】 下北山村保健センター

◆ご長寿企画！認知症予防教室

高齢期に最も多い病気と言われている認知症。みんなで脳トレ＆体操をして、認知症を予防しましょう！

【日時】 5月10日(木)

午前10時30分～お昼12時

【場所】 下北山村保健センター

【対象】 村内在住の方

【参加費】 無料

送迎あり(要予約)

◆ワンコインヨガ教室

今年度より、1回500円に！忙しくて全部は参加できないけど：なんて人にもお勧めです！気の向いたときにでも大丈夫！ダイエツトにも、肩こり予防にも、リラックスにも効果があります。

【日時】 ①4月25日(水)

②5月9日(水)

午後7時～午後8時30分
※日程変更する場合がございます。

【場所】 下北山村保健センター

【対象】 村内在住の方

【参加費】 1回500円

8回3,000円コースもあり
※欠席、途中で止められた場合でも返金不可

【お申込み・お問い合わせ】
保健センター ☎6-00015

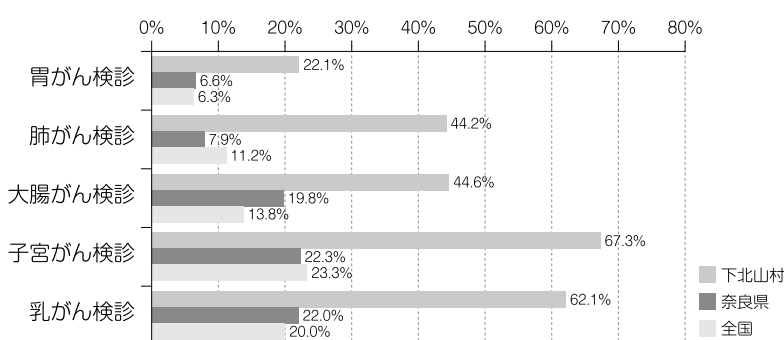
病気知らずの元気村

～健康しもきた豆知識①～

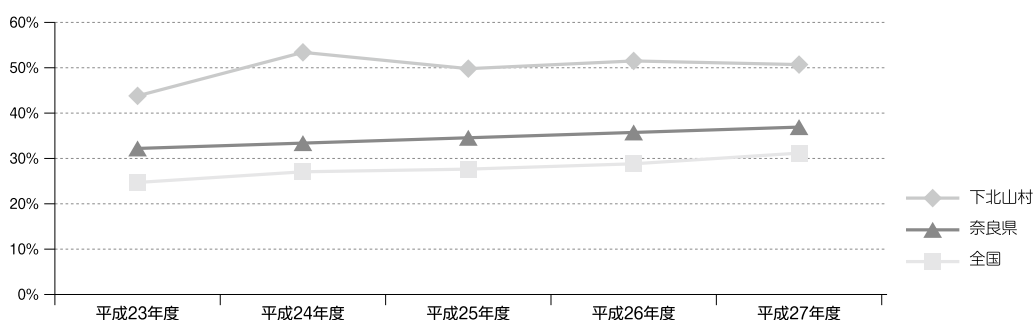
平成30年3月に下北山村データヘルス計画を策定しました。今回よりその一部をご紹介します！

栄えある第1回目は、下北山村の検診受診率についてです。本村は、奈良県、全国と比較しても高い受診率を誇っています！今年の総合健診もぜひ受診して頂き、病気知らずの元気村を目指しましょう！

各種がん検診の受診率の比較(平成27年度)



特定健診の受診率の推移比較





駐在さん通信



交通死亡事故が発生しました！

3月6日(火)、午後4時30分頃上北山村の国道169号新伯母峯トンネル内で車2台が正面衝突する事故が発生し、2人がお亡くなりになりました。

この事故の原因は調査中ですが、車2台とも正面部分が大破しており、その内の1台が激しく炎上しました。

村民の皆様におかれましても、週末に吉野方面に行かれる際は、長距離運転になることから、適度の休憩及び安全運転で走行してください。また、桜の季節で下北山村の自然を求めて観光客の増加が予想されます。村内を通る車両も

増えることから、①対向が難しい狭路②見通しの悪いカーブには特に注意し、安全運転を心掛けて下さい。

村民の皆さんへお願い！

奈良県下では、毎日のように振り込め詐欺の不審電話が相次いでいます。

手口も様々で、実際に被害に遭われている方もいます。皆さんには特殊詐欺の具体的な手口を知っていただくとともに、家族や親せき、知人の方にも注意を呼び掛けて下さい。

また、携帯電話を掛けながらATMを操作している方を見かけたら、還付金等の被害詐欺に遭っている可能性がありますので声をかけをよろしくお願いします。

皆さんが、今すぐ出来る防犯対策、それは電話に出ないことです。自宅にいても電話に出ない。



朝の挨拶 ハイタッチ！



「おはよう、今日も元気で！」。スクールバスから降りてくる小学生達をハイタッチで迎える大人達。これは、駐在所の警察官と役場職員の有志が、何年も前から小学校前で毎朝行っている挨拶運動の光景です。

3月19日(月)、いつものように挨拶運動を行っている中、子供たちが手造りの感謝状をプレゼントしてくれました。今後も、村の子どもたちを地域全体で見守り育てていきたいものです。



春の交通安全県民運動が実施されます！

☆実施期間

平成30年4月6日(金)～

同年4月15日(日)まで

村民の皆さん、交通違反・交通事故には、気を付けて車を運転してください。



シルバー募金に ご協力いただいた方

愛知県岡崎市(3月14日)

下高谷 昌 孝 さん

ご協力いただきました皆様、
ありがとうございます。
今後、いこいの郷の施設整備に
活用させていただきます。

きなりの郷下北山

ふるさと納税

ふるさと納税制度

ふるさと納税制度にご協力いただいた方

・愛知県豊田市(3月19日)

平井 俊 洋 さん

ありがとうございます。



ご卒業・ご卒園おめでとうございます

卒業・卒園のシーズンを迎え、中学校では3月15日・小学校が3月22日・保育所が3月27日にそれぞれ卒業式・卒園式が行われました。

4月から新しい学校生活が始まりますね。不安や戸惑いもあると思います。特に、中学校を卒業された皆さんは親元を離れた全く違う環境で高校生活が始まります。最高の仲間と過ごした最高の思い出を胸に、夢に向かって頑張ってください！

なお、卒業・卒園された皆さんは次のとおりです。

・ ・ ・ ・ ・
東 戸 尾 福 中 西 濟
嶋 前 本 村 岡 木
麗 梨 了 啓 聖 修 優
依 乃 守 人 仁 門 作

〔中学校〕



・ ・ ・ ・ ・
濟 福 前 中
木 岡 更
志 双 予 百
帆 葉 昊 夏

〔小学校〕



・ ・ ・
北 井 田
奥 中
悠
昂 湧 翔

〔保育所〕



人の動き

平成30年2月28日現在

		先月比	前年同月比
人 口	929人	(± 0)	(- 41)
男	424人	(+ 1)	(- 16)
女	505人	(- 1)	(- 25)
世帯数	576戸	(+ 1)	(- 12)

発 行 下北山村役場 〒639-3803
奈良県吉野郡下北山村大字寺垣内983番地
☎(代)07468-6-0001
<http://www.vill.shimokitayama.nara.jp/>